TOPICS ［ペガサスグループのトピックス情報］

TOPICS 5 ペガサス療養通所介護・ペガサスレスパイトケアセンター
保育所等訪問支援事業 開始

療養通所介護の職員が各施設に出向き、社会適応のために必要なケアを指導。

平成30年2月1日から、堺市で保育所等訪問支援事業が始まりました。この事業は、療養通所介護の職員が、保育所、特別支援学校、児童福祉施設等に出向き、社会適応のために必要なケアをアドバイスするなど、各施設の職員やお子さんに対して専門的な支援を行うものです。

療養通所介護やレスパイトケアセンターの運営など、療養通所事業に実績のある社会医療法人ペガサスが、当事業に携わっています。これまでは医学的な専門家が指導に出向くケースはほぼありませんでしたが、ペガサスには、看護師、リハビリテーションスタッフ、臨床心理士などが在籍しており、療養通所事業にも協力しています。多職種が連携して訪問することで、お子さんの障害に応じた必要な指導を行ってまいります。

ペガサス療養通所介護

ペガサスレスパイトケアセンター

TOPICS 6 社会福祉法人　風の馬
アリオン イベント開催

数々の趣向を凝らしたイベントを開催。地域の皆さまもぜひご参加ください。

園児たちの踊りに拍手喝采

特別養護老人ホームアリオンでは、ご利用者や地域の皆さまに向けて、趣向を凝らしたイベントを開催しています。平成30年1月16日は、ペガサス第二保育園の園児との交流会が行われました。園歌、ソーラン節などの歌や踊りが披露されたほか、じゃんけん交流などのお楽しみも。かわいい笑顔と歌声に、ご利用者の皆さまも心から拍手を贈っていました。

また、毎月開催するオレンジ・カフェでは、介護や認知症などについて関心のある方が集い、お茶を飲みながら専門家と話ができます。2月1日の開催テーマは「元気に体操、元気な毎日を」。ペガサス介護療養型老人保健施設エクウスの浅野賀生理学療法士が講師となり、普段使っていない筋肉の動かし方や、体操の種類についてお話しました。

オレンジ・カフェの様子

ペガサス地域包括ケアセンター

「なんでも相談」窓口あります

場所：馬場記念病院 総合案内横
時間：平日9時30分～12時まで
　健康のことから在宅介護まで。多様なニーズに対応する「なんでも相談」窓口を設置しています。
　まずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ／TEL:072-265-5558
（担当　平岩）

ペガサスグループ　株式会社ユニコ

取り扱う紙おむつは148種類。
大幅な値下げも実施中です。
お問い合わせ／TEL:0120-062-505

堺市紙おむつ給付券OK！

私たちと一緒に働きましょう。

随時受付しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり
業務は、A）書類の印刷、製本　B）洗濯　C）清掃
D）データ入力　E）資料作成等。
お問い合わせ／馬場記念病院 人事課 TEL：072-265-9089

社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus

6月 ペガサスセミナー

めまいについて

講師：馬場記念病院 脳神経内科
　　医師 柘植 彩子
日時：6月28日（木）午後2時～3時
場所：馬場記念病院 1階ロビー

6月 ペルセウス介護支援セミナー

～レッツ トライ!! 車椅子への乗り移り～
もっと簡単に、もっと楽に（実技指導あり）

講師：理学療法士 浜 公彦
日時：6月29日（金）午後2時30分～
場所：介護療養型老人保健施設
　　ペルセウス3階食堂

6月 ペガサスセミナー和泉

STOP! 食中毒と夏バテ!

講師：介護療養型老人保健施設 エクウス
　　管理栄養士 稲垣 由衣
日時：6月28日（木）午後2時～3時
場所：介護療養型老人保健施設エクウス

PEGASUS NEWS

ペガサスニュース
発行人／馬場武彦
発　行／社会医療法人ペガサス
　　大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
　　http://www.pegasasu.or.jp/
編　集／ペガサス広報委員会　編集グループ
編集協力／HIPコーポレーション
発　行／平成30年6月4日

Vol.80

ペガサスから地域の皆さまへ

「第6回 南大阪リハビリテーション・ケア学会」を開催。多種職でリハビリテーションやケアを考える。

平成30年3月10日、馬場記念病院で「第6回　南大阪リハビリテーション・ケア学会」が開催されました。この学会は、南大阪地域におけるリハビリテーションに関わるすべての職種のレベルアップを図り、地域住民の生活向上に寄与することを目的として毎年開催されているものです。

午前と午後にわたり、参加者は、「自立支援」「歩行・ADL」「調査・研究」「チーム医療」「看護・介護」「高次脳・精神・心理」「地域包括ケア」「認知症」「摂食・嚥下・栄養」の各カテゴリーごとに、全57の一般演題を発表。最優秀賞には、『回復期病棟で入院時FIM（機能的自立度評価表）運動項目が50点以下の患者の転帰について～FIMが伸びにくい症例の一考察～』を発表した、医療法人三栄会　ツカザキ記念病院　理学療法士の仲原弘晃さんが選ばれ表彰されました。

会場の様子

最優秀賞を受賞した仲原弘晃さん

また、招待講演では、大阪大学大学院歯学研究科　顎口腔機能治療学教室 准教授の野原幹司先生、茨城県立健康プラザ管理者・茨城県立医療大学付属病院　名誉院長の大田仁史先生をお招きし、それぞれ、『多種職で行う認知症高齢者の食支援～キュアからケアへ～』と『<包括的>介護予防の考えですべての活動を繋げよう』についてお話しいただきました。

ペガサスでは、このような活動を通して、リハビリテーション及びケアを多種職の視点で高めあい、南大阪地域の皆様の生活向上のために尽力してまいります。

小規模保育園 ペガサス保育園つばさが開園しました。

平成30年4月1日、堺市西区に、社会福祉法人風の馬が運営する「小規模保育園ペガサス保育園つばさ」が誕生しました。開設に先立ち、3月27日に地域の皆さまへの内覧会を開催。当日は、85名の皆さまにご来訪いただきました。

同園は、定員が19名と少ない小規模保育園です。乳児期の大切な時期を、家庭的な雰囲気のなか、一人ひとりの成長に合わせて保育を提供することをめざしています。

また、通常の保育と併せ、医療的ケアを必要とするお子さんにも対応し、政令市では初めての取り組みとして、堺市関係各位からも期待されています。医療的ケアの提供においては、多職種チームが連携し、適切なサポートを行うとともに、児童発達支援事業所の活用など、社会医療法人ペガサスが全面的にバックアップいたします。

かけがえのないお子さんたちの健やかな成長を願い、職員一同よりよい支援ができるよう邁進する所存です。地域の皆さまにおかれましても、あたたかく見守っていただきますようお願い申し上げます。

病気を知ろう | 誤嚥性肺炎　シリーズ no.11

症状がわかりづらい高齢者の肺炎。口の中の細菌が肺で炎症を起こす。

監修
馬場記念病院
呼吸器科部長
高村 竜一郎

高齢化に伴い増えている〈誤嚥性肺炎〉。

加齢により喉（のど）の反射機能が衰えると、本来、食道に送られるはずの食べ物や唾液などが、誤って気管に入り込みます。この誤嚥（ごえん）が原因で起こる肺炎を、誤嚥性肺炎といいます。口の中には菌が多く住み着いているので、菌を含んだ唾液が肺に入り感染すると肺炎を起こします。

知らず知らずのうちに起きる肺炎にご用心。

高齢者の場合、肺炎を起こしても、発熱、咳などの典型的な症状が現れにくいといわれています。最近、喉の辺りがゴロゴロと鳴っている、食欲がない日が続く、なんとなくボンヤリしている、寝たきりの人で意識レベルが下がっている…「いつもと違う」と感じたときは、すぐに医師の診察を受けるようおすすめします。

抗生薬での治療のほか、再発しないための予防も。

誤嚥性肺炎の治療には、一般的に抗生剤が用いられます。原因となる菌の種類により、効果がある抗生剤は異なります。問診、X線検査等の画像診断、喀痰（かくたん）や血液・尿の検査等を行い、原因菌をある程度想定して治療を始めます。

また、症状を改善する治療と同時に大切なのが、できるだけ再発を減らすための日頃の予防です。例えば、口腔ケアで肺炎を起こしにくい口内環境を整え、患者さんの状態に併せて、嚥下（えんげ）リハビリテーションを行うことが大切です。当院には、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士が在籍しており、摂食・嚥下に関するご相談もお受けしています。

誤嚥性肺炎の繰り返しを少しでも減らすように、多職種が連携して患者さんの回復をサポートしています。

●誤嚥性肺炎の予防のポイント

お口の清潔を保つ　飲み込む力を保つ　抵抗力を高める

イラスト提供：PIXTA

エキスパート | 慢性呼吸器疾患看護認定看護師　シリーズ no.11

在宅での安定期をできるだけ長く。

慢性呼吸器疾患の患者を支えるスペシャリスト。

慢性呼吸器疾患とは、気管支喘息や間質性肺炎、COPD（慢性閉塞性肺疾患）などの疾患の総称です。生活の質にも大いに影響する呼吸困難を抱える患者さまに対して、慢性呼吸器疾患看護認定看護師は、病期に応じた呼吸機能の評価や呼吸管理を行っています。また、病状の悪化を予防し、社会復帰に向けた呼吸リハビリテーションを通して患者さまを支えるご家族のサポートや看護スタッフの指導や相談にも応じています。

馬場記念病院の看護部には、1名の慢性呼吸器疾患看護認定看護師が在籍しています。

「慢性呼吸器疾患は、病状を悪化させないように、患者さまご自身がセルフケアをしていく必要があります。在宅での安定期をできるだけ長く過ごしていただけるように、患者さまやご家族一人ひとりの気持ちに寄り添い支援することを大切にしています。慢性呼吸器疾患では、看護という視点だけではなく、運動や栄養、服薬、リハビリテーションなど、さまざまな面からのサポートが必要不可欠となります。多職種が多面的に関わり、呼吸器ケアを学べるような場を作っていきたいと思います。将来的には呼吸器ケアチームを立ち上げることを目標にしています」。（渡部）

（渡部 咲絵子 看護師）

TOPICS 1　ペガサスグループ
ペガサスケア発表会

ペガサスデイサービスセンター石津北が優勝を飾りました。

第3回目を迎える＜ペガサスケア発表会＞が、平成30年1月29日に開催されました。これは、ケアの質向上と、各部署の連携強化を図るために、毎年実施されているものです。昨年12月の予選を勝ち抜いた6チームが本選に出場し、ペガサスデイサービスセンター石津北が優勝しました。

優　勝	デイサービスでの機能訓練についての事例	ペガサスデイサービスセンター石津北
準優勝	ニーズに沿ったケア～ADLとQOLの向上	介護療養型老人保健施設 ペルセウス　ヴィーナス
第三位	接遇 ～One for All,All for one～	ペガサスリハビリテーション病院　3階病棟

優勝チームが発表したテーマは『デイサービスでの機能訓練についての事例』。通所事業所において、平成29年5月より導入した起立着座訓練での事例を取り上げ、導入後の歩行や立位の安定といった動作改善の効果を発表しました。発表者からは「運動量の維持と向上のため、可能であればご自宅でも取り組めるように提案していきたい」と今後の豊富が述べられました。ペガサスでは、このような取り組みを通じて、利用者さまがその人らしい生活を送っていただけるよう支援してまいります。

TOPICS 2　ペガサスグループ
日米ジョイントフォーラム

米国の先進的な事象や事例に学び、日本のヘルスケアを考える。

社会医療研究所・所長の岡田玲一郎先生が企画する＜日米ジョイントフォーラム＞が、平成30年2月17日、18日の両日にわたり大阪と東京で開催されました。

これは、米国の先進的な事象や事例を有識者から学ぶことで、日本のヘルスケアを考えるために毎年開催されているものです。今年は「健康なときから、死に到るまで～医療・福祉はどう関わるのか～」をテーマに、米国や日本の専門家が多数集いました。

大阪会場で開催されたフォーラムでは、介護医療院とSNF（Skilled Nursing Facility）、医師のバーンアウトの問題を取り上げ、日本のヘルスケアのあり方について考えました。招待講演では、日本慢性期医療協会 池端幸彦副会長による、医療・介護報酬同時改定や地域医療構想の現状を踏まえた話がなされ、大変有意義な講演となりました。

TOPICS 3　ペガサスグループ
平成29年度職員表彰式

ペガサスの一員として貢献してきた勤続20年以上の職員84名を表彰。

平成29年11月27日、ペガサスグループで勤続20年以上の職員を対象に、表彰式を開催しました。表彰された職員は総勢84名。自身も勤続20年以上となる理事長の馬場武彦から代表者へ表彰状と、記念品として表彰者の名前入りのカトラリーが贈られました。表彰を受けた職員は、一人ひとりの感慨深い思いを語り、ペガサスグループのさらなる飛躍のために精進することを誓いました。

TOPICS 4　馬場記念病院
ガンマカメラ更新

診断画像の精度向上に役立つ最新のSPECT／CT装置。

今回更新した装置では、SPECTとX線CTを同一体位で撮像することが可能となり、核医学画像におけるトレーサ分布情報とX線CTの解剖学的情報が簡便に融合でき、融合精度も大きく向上しました。また、X線CTを用いた減弱補正が可能になるなど、画質向上も図ることで診断精度も高まります。

今後もより有用な画像の提供をめざし、診断の向上に寄与していきます。

Optima NM/CT640（写真：GE Healthcare提供）

Information
ペガサス
マンモグラフィーサンデー

馬場記念病院　ペガサス健診センターでは、月1回、第2日曜日に『乳がん検診』を実施。5/13（日）より、女性の医師による診察が始まります。堺市の乳がん検診（※）にも対応していますので、ぜひこの機会にご利用ください（要予約）。
※堺市の乳がん検診を利用される方へ／平成30年4月1日から、満40歳以上で偶数年齢の女性の方は、自己負担金が無料となりました。詳しくは堺市ホームページをご覧ください。